

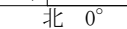
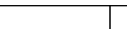
ボーリング柱状図

調 査 名 城南区大字東油山地内土質調査委託

ボーリングNo

事業・工事名

シート No

ボーリング名	No. 1			調査位置		福岡市城南区大字東油山地内						北緯		33° 31' 38.32"					
発注機関	福岡市 農林水産局 農林部 森林・林政課					調査期間		平成 22年 9月 29日 ~ 22年 10月 2日				東経		130° 22' 20.34"					
調査業者名	小岱地研 電話 (092-862-6454)			主任技師		松藤 敬二郎		現代場人 代理人		松藤 敬二郎		コ 鑑 定 者		松藤 敬二郎		ボーリング 責任者		松藤 敬二郎	
孔口標高	179.33m	角 	方 	地盤 勾配 	使用 機種	試錐機	ワイビーエム製 YBM-05				ハンマー 落下用具		半自動落下型						
総掘進長	17.00m					度	向	配	エンジン	ヤンマー製 NFAD8				ポンプ		ワイビーエム製 SP-30			

標尺	標高	層厚	深度	柱状	土質区分	色調	相對密度	相對稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験						原位試験		試料採取		室内試験(掘進月日)						
											深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量	N 値	深度	試験名および結果	深度	試料番号		採取方法					
												0	10	20													
												〃	〃	〃													
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事		(m)					(m)											
1					崩積土	赤褐～暗褐		非常に緩～中位	0.00～0.04m間は腐植土であり暗褐色を呈する。 草根を多量に混入する。 0.04～0.75m間は礫混りシルト質砂である。 花崗岩起源の石英粒子を混在する。 径は2～4mm程度。 やや含水比が高い。0.45mに木片を混入する。 0.75～5.10mは砂～礫混り砂状で、下部はやや締りが良い。 径10cm程度の強～中風化花崗岩礫を含む。 花崗岩礫は指圧及びハンマー軽打で砂～礫状に破碎する。	10/2 10.65 ▽	1.15	1/12	1/9	1	3/31	3											
2			1.46																								
3			2.15								2	6	3	11/30	11												
4			2.45																								
5	174.23	5.10	5.10								3.15	5	10	6	21/30	21											
6					強風化花崗岩	黄褐～灰褐			DL級岩盤 マサ状であり指圧で破碎し細粒砂状となる。 長石・雲母は粘土化し、亀裂の性状は不明瞭である。 石英の鉱物粒子はしっかりしているが白濁化が進んでいる。	10.65 ▽	3.45																
7	172.33	1.90	7.00								4.15	9	6	4	19/30	19											
8											4.45																
9											5.15	2	3	3	8/30	8											
10											5.45																
11					強風化花崗岩	黄褐～灰褐			DM級岩盤 マサ状であり、指圧で容易に破碎し砂状となる。 長石・雲母は粘土化しており、亀裂の性状は不明瞭である。 石英の鉱物粒子はしっかりしているが半白濁化している。	10.65 ▽	6.15	2	3	3	8/30	8											
12											6.45																
13	166.93	5.40	12.40								7.15	3	4	5	12/30	12											
14											7.45																
15											8.15	4	5	5	14/30	14											
16					強風化花崗岩	黄褐～灰褐			DH級岩盤 マサ状であるが岩組織が比較的明瞭となる。 長石は粘土～半粘土化している。カリ長石の色調が明瞭となる。 石英が小礫状に残存し、強指圧で礫混り砂状に破碎する。 亀裂の性状は不明瞭である。	10.65 ▽	8.45																
17											9.15	4	6	6	16/30	16											
18											9.45																
19	165.33	1.60	14.00								10.15	6	8	12	26/30	26											
20											10.45																
21					風化花崗岩	灰褐			DH～CL級岩盤 岩組織は明瞭で鉱物間の結合も強くなる。 長石は粘土～半粘土化している。 雲母は黄金色化し、石英は小礫状に多く残り、コア表面はザラザラしている。 強指圧～ハンマー軽打で破碎し礫混り土砂状となる。 亀裂の性状は不明瞭である。	10.65 ▽	11.15	5	7	9	21/30	21											
22											11.45																
23	162.33	3.00	17.00								12.15	6	8	12	26/30	26											
24											12.45																
25											13.15	10	12	19	41/30	41											
26											13.45	18	23	9/3	50/23	65											
27											14.38																
28											15.15	15	19	16/6	50/26	58											
29											15.41																
30											16.15	44	6/1		50/11	136											
31											16.26																
32											17.15	45	5/1		50/11	136											
33											17.26																

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があります、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。